

## まちづくり地区懇談会（富田区）会議録

地区名：富田区

日時：平成28年11月1日（火）19：00～20：40

会場：富田公民館

町参加者：町長・副町長・清水課長・三井室長・今井担当課長・平澤係員・竹腰係員・  
三澤地域支援スタッフ

参加人数：19人（男性19人：女性0人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

### 1 開会（司会：今井課長）

### 2 区長あいさつ

テーマはあるがテーマに関わらず、地域の活性化のために意見・ご質問等出している  
いただき、有意義な会議にしていきたい。

### 3 町長あいさつ

いろいろなところで人口減少している。増加は難しいが歯止めをかけなければいけない。  
富田区は高齢化率が一見高そうに見えるが、高齢者のみの独居世帯が少ない。  
地域で子どもを育てるといったこともこの区では非常に強く感じる。

SCモデル地区感謝。

西県道の問題等やらなければいけないこともある。どんなことから手をつけたらよ  
いか教えていただけたらと思う。

### 4 町出席者の紹介

### 5 区・町の話（平澤）

### 6 質疑・懇談

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

#### ○少子高齢化について

参加者）南箕輪は増加。南箕輪より箕輪の方が過ごしやすいと思うが。若い世代が学校  
へ出てそのままといった形が多い。

町長）国勢調査が出たが、なんだかわからないが南箕輪だけ人口が上がっている。

見習うべきところは見習いたい、いくつか申し上げると南箕輪は伊那市の惑星で  
あり、人口が減るような地域が少ないと感じる。地理的条件がかなり良い。

それと、パラパラと住宅が建つ。土地利用形態が箕輪より住宅が建てやすいといっ

た気がする。それと併せて土地が安いので、不動産屋が箕輪より南箕輪を誘導する。それと、どうしようもないが、子育てするなら南箕輪、住むなら南箕輪といったようなイメージがある。それらがプラスの方向に大きく働いていると思う。その一方で、大変だと思う。若い人が増えるということは収入の少ない人が増えるということ。子どもが増えることで保育園や学校も建て増しをしている。残念ながら、伊那市に勤務しながら・箕輪に勤務しながら、南箕輪に住む人が多い。挽回をしなければと思っている。富田の場合、人口推計だとあまり減少しないようになっている。際立って減る数値が出ていないということは、ここ5年、10年あまり減っていないのではないかと思う。

#### ○消防団について

参加者) 消防団員3人。若い人がいない中で、災害があった時の対応が不安だが、町としてどのような考えか。

町長) もうちょっと違った分団構成にするか、年齢を上げるか、入っていない人に入ってもらおうか。

参加者) 若い人がいない。ポンプ操法があるから親が入れたがらない。仕事優先。

自衛消防団は10人。

今年から可搬ポンプを区の方で管理をしながら予備消防隊で使おうと。でも、実際、予備消防隊はポンプ車は使えない。

消火栓より高いところに家があり、そこは水が出ない(圧が出ない)。

水道課長) 旧の配水池から出しても新の配水池から出してもあまり変わらない。

見てはみるが。

参加者) どうしても可搬ポンプがないと。可搬ポンプは2台あった。1台は搭載車で、もう1台は可搬ポンプのみが置いてあった。それが、可搬ポンプが撤去され、搭載車1台になってしまった。

自衛消防団は高齢化。

区長) 名簿には載っているが実際に活動している人は少ない。

#### ○人口・移住対策～農振について

参加者) 資料を前もっていただければ勉強してくる。

少子化対策、若い世代の定住対策についてやられていると思うが。

町長) 自然増で出生、結婚して子どもを産んでもらうことがまず一つ。

もう一つは外から来てもらうこと。1年間48人来てもらえなければ下げ止まりにならないといった推計。今までそういう政策をやってこなかったのが初めてやることになる。新しい人が入ってくるということはいろいろな問題も出てくるかと思

うが、各区でクリアしていってもらいたいと思う。

みのわの魅力発信室長) 移住者に対する支援制度について、今年の4月から

若者に世代に対する定住支援金という制度をつくった。

- ① 上伊那郡外から移住する場合 最高 70 万円を補助
- ② 空き家改修費用 最高 40 万円
- ③ 空き家の家財の片づけ 最高 10 万円

9/30 現在、① 2 件 ② 3 件 ③ 6 件の申請があった。さらに増えている状況。

参加者) 新築住宅を建てるといっても、農振だと住宅が建たない。中曽根もそうだが。

町長) 南箕輪村に住んで、箕輪町で働いて、伊那市で買い物をするといった上伊那全体を大らかな目で見ても良いかと思うが、そうもいかない。

土地利用はもう少し非農用地の設定をしておけばよかったと思うが、農振除外でできるような設定も必要と思う。農地を守ることは大事だが、地域を守れないのはおかしな話。むやみやたらに外すわけにはいかないなので、ある程度具体性を考えなければならない。

参加者) まずは出してみるというのも大事だが、農振で恩恵を受けているところもある。

町と農業委員会とで話をしてほしいが、実際は農業ができないようなところが農振になっているところもある。

町長) 自然と遊休地になって荒廃地になっていくのとは別。農業委員会の方でいろいろやってもらって、荒廃地は非常に少ないんですが... お話わかりました。

#### ○里山整備について

参加者) 最近、間伐を進めて全体的にはきれいになってきたが、道路際の若木が多い。

富田でも熊、イノシシ、ニホンジカが出る。

道路際の若木が最近多く、特に夏場は見通しが悪い。町には、2 度、3 度出たら対策すると言われたが、対策をして見通しをよくしてほしい。

水道課長) 一番は個人有林の所有者で構成する協議会みたいなものを作ってもらって、

里山整備の計画を作って申請してもらおうという方法が一番良いが、「うちはいい」とか言う人もいたり難しいと思うが、ある程度の面積にならないと補助の対象にならない。

町長) どの辺のところ？

参加者) 特には、グラウンドからずっと上の道路北側。法の部分から 5、6 m。区の人達でがんばってやりかけたところもあるが、なかなか。

#### ○上伊那広域消防について

参加者) 上伊那広域消防にした経過はどういうことか。

辰野の小野の奥まで行くなんて40分位かかる。前は箕輪の本部から指令が出ていたが、今は一旦伊那の本部から出て箕輪に来るようになってきていると思うが、どうして広域みたいな形にしたのか。

副町長) 火災現場に一番近いところからの出動となっている。今までより早いし、効率的に対応できるようになっている。辰野と箕輪とか、南箕輪と箕輪とか、2団体出るようになっている。

町長) 消防本部を広域化するというのは国・県の対策。

効率的にはなっている。どんな火災も指令本部で対応できる。マイナス部分は払拭していかないと。人事異動などは慣れてもらうしかない。災害や消火活動をする人は減っていない。

#### ○個人的なこと

参加者) 個人的なことだが、1回の年金から6万も引かれるがなぜ。

町長) 儲かっていたんじゃない。もらっていた分が多かったんじゃないの。それはどこも同じ。心配しないで。余分には取ってはいませんので。

参加者) 箕輪の役場と辰野を比べてはいけませんが、箕輪の職員の対応が素晴らしい。

#### ○広報について

参加者) 箕輪の広報について。

息子が新築し、区内では同居として区費など一世帯として試みられているが、役場では別居で2世帯。広報や資料は区内での世帯ごとで配布。私が見た広報を息子の方に渡している。

みのわの魅力発信室長) 世帯分離していてポストがそれぞれあるなら、それぞれに届けることはできる。町としては、配る人は世帯分離しているかわからない。家の面で見ているので、言ってもらえば対応するが、特に何もなければそのまま配ることになる。

町長) 業者になったのは区に入っていない人にも配るため。広報というものは全員に行きわたる必要がある。月刊かみいなに委託している。言っただけで対応する。

#### ○営農組合のことで要望

参加者) 町・県・国の補助は、そばとか小麦とか特定作物の補助はあるが、小さい土地でそばというわけにもいかない。何を作るかという時、問題になるが、焼酎芋は今はほぼ赤字。農地を守っていくことに対する支援。営農組合への支援を増額してほしい。

町長) 国の対策としては集約・集約となっているので、確かに小さい規模のところは捨てられている。ただ、具体的に何かをやりたいというのがあればだが、ただ増額と

いうのは難しい。

#### ○その他

参加者) 移住について、一時金は良いが就農しても何年かはその先食べていくのは難しい。何年かは支援が必要。

それから、介護システムは活動によって機材を買うとか、金額が大きいものとかどの程度。

町長) SC 各区に20万円始めたが、やってみないとわからないのもある。

地域包括ケアを進めていくにあたって、ケア会議やサロンなどボランティアだけでは難しい。何か考えないといけないとは思っている。

参加者) 告知放送

ボリュームが話す人によってさまざま。一定にしてほしい。

みのわの魅力発信室長) 緊急放送は最大で流れる。録音レベルは担当と調整する。

参加者) 下水道の関係

凍みてマンホールが上がったり下がったりするが、修繕ほどの程度のレベルでやってもらえるか。県道に面しているところは県か町か。辰野与地線は大きいトラックが通る。区の予算でないと舗装ができないようなところ 町でやってもらえるか。

水道課長) 下水マンホール段差は、3～5mを目安としている。建設課と現地確認してやっている。

簡易舗装は現在町にない。町道1級は区の負担かからない。2級は区の負担あり。細かいことは区長を通してまた上げてもらえれば。

#### 7 まとめ

町長) いろいろと問題をいただいた。答えられない質問は持ち帰って対応させていただく。町としてやらなければいけないことはやる。町の予算編成も始まるので、何か要望があったら上げてください。

#### 8 閉会 (20:40)